

2022 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2022 年度分)

<p>団体名</p>	<p>消防救命サークル</p>		
			
			
<p>現在 流行している TikTok での短い動画で当団体の活動紹介や、救命講習を体験していただくことへの敷居を取り払えるアピールになればと思い作成した。</p> <p>また、講習会を開催した内容を随時 Twitter で報告することで、常に講習活動をしている団体であることを周知してもらおうと意図した。</p> <p>尚、秋には京都市消防局のダイヤル「7 1 1 9」キャンペーンに参加し京都市消防局公式のインスタグラムで動画が紹介されている。</p> <p>業務上、講習の必要がある福祉施設、介護ケア施設で忙しくてなかなか受講に行けない、又、消防署との日程が合わず職員に受講させていない施設様があるかと思ひ、テレアポで施設に電話をかけ依頼を得た。施設の業務時間外で職員が一同に受講できるという点において大変好評いただき、また依頼をしたいとお言葉を頂いた。</p> <p>医療系予備校に通う生徒さんと引率の先生に向けての救命講習を開催し、座学において、心肺蘇生がいかに大切かという心臓のメカニズムについても触れ説明、実技を実施し好評を得られた。</p>			